

## 第 1 2 章 消防本部

### 第 1 節 消防総務課

#### 〔総括概要〕

消防総務課は、消防総務係・消防団係の 2 係体制で業務を行っている。

消防総務係の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修及び福利厚生、広報広聴、消防事務の企画及び調整並びに消防施設の整備及び維持管理である。

職員の研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるように、平成 30 年度から分野ごとに対象者を限定する T F E T (Tochigi Fireman Education and Training／栃木市消防職員研修) や専科教育訓練を継続的に実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員研修は自粛した。

広報広聴については、ホームページにおいて消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知するため、消防本部の各種の案内及び応急処置方法等の掲載のほか、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

消防施設の整備については、令和元・2 年度の庁舎整備基本・実施設計を踏まえ、資機材倉庫兼備蓄倉庫の新築工事及び別館倉庫等の解体工事を完了した。

消防団係の主な分掌事務は、消防団の総括及び連絡調整、消防団施設の整備及び管理、資機材の購入及び管理並びに開発行為に係る消防水利の協議である。

今年度は平成 29 年度から検討していた組織の再編を行った。再編の目的は、「市民の生命と財産を守る」ことを継続しつつ、人口減少や社会情勢を考慮した組織を構築することとしており、実施にあたり消防団員、関係自治会と十分に協議を行った。

施設等の整備については、組織再編により使用しなくなった器具置場を 3 棟解体した。これらは借地であったため、土地の返還を行うことで維持管理の経費を節減することができた。車両については藤岡第 2 分団第 2 部、第 3 分団第 2 部、第 4 分団第 2 部の小型動力ポンプ付積載車を軽自動車ベースの小型動力ポンプ付積載車に更新し、有事の際への対応力を強化した。

消防団の訓練等は、ウィズコロナ時代に適応できるものを検討し、可能な範囲で実施をした。また、新たな試みとして、会議のオンライン化を試験的に実施した。

消防団の防災活動については、平時における消火活動等に従事したほか、栃木市消防団の広報誌「火伏」第 4 号を発行し、消防団 P R に広く努めた。

消防総務係

1 消防職員数

(1) 階級別職員数

(4月1日現在 単位：人)

階級 区分	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								204
実員	1	9	26	40	27	27	58	4	192

(2) 所属別職員数

(4月1日現在 単位：人)

階級 所属	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	そ の 他	計	摘 要
	消防長	1	-	-	-	-	-	-	-	1
次長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
消防総務課	-	2	3	2	2	1	1	4	15	栃木県消防防災課派遣1
予防課	-	1	4	2	1	2	1	-	11	
警防課	-	1	1	2	1	-	-	-	5	
通信指令課	-	1	3	2	3	2	1	-	12	
計	1	6	11	8	7	5	3	4	45	
署長	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
消防第1課	-	1	2	9	1	3	13	-	29	
消防第2課	-	1	3	7	3	4	11	-	29	
大平分署	-	-	2	4	3	4	6	-	19	
藤岡分署	-	-	2	3	6	1	5	-	17	
都賀分署	-	-	2	2	3	3	5	-	15	
西方分署	-	-	2	2	2	5	4	-	15	
岩舟分署	-	-	2	5	2	2	6	-	17	
計	-	3	15	32	20	22	50	-	142	
研修職員	-	-	-	-	-	-	5	-	5	栃木県消防学校へ入校5
合計	1	9	26	40	27	27	58	4	192	

(3) 消防職級別職員数

(単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	9	11	15	40	27	55	26	184
女	-	-	-	-	-	-	3	1	4
計	1	9	11	15	40	27	58	27	188

## 2 消防職員人事

### (1) 職員の採用 (単位：人)

職 種	人 員	男	女
消 防	5	5	0

### (2) 職員の退職 (単位：人)

職 種	人 員
消 防	2

### (3) 消防職員採用試験の実施状況

#### ア 試験実施状況

実 施 日	内 容
9月19日(日)	第一次試験(筆記試験)実施
10月14日(木)	第二次試験(体力測定)実施
10月21日(木)	第二次試験(面接試験)実施

#### イ 受験状況

職 種	応募者数 (人)	受験者数 (人)	最終合格者数(人)			実質倍率 (倍)
			男	女	計	
消 防	27	25	6	1	7	3.57

## 3 消防職員研修

### (1) 栃木県消防学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
4月 6日(火)～ 9月24日(金) [115日]	初任教育	5
9月28日(火)～10月26日(火) [21日]	専科教育救助科	3
10月 4日(月)～10月15日(金) [10日]	幹部教育初級幹部科	2
10月18日(月)～10月22日(金) [ 5日]	幹部教育中級幹部科	2
10月27日(水)～12月24日(金) [41日]	専科教育救急科	5
1月12日(水)～ 1月21日(金) [ 8日]	専科教育警防科	2
1月13日(木)～ 1月21日(金) [ 7日]	専科教育特殊災害科	3
1月31日(月)～ 2月 4日(金) [ 5日]	専科教育危険物科	2
2月 1日(火)～ 2月15日(火) [10日]	専科教育予防査察科	3

### (2) 消防大学学校教育訓練

期 間	研 修 科 目	参加者数(人)
6月14日(月)～ 7月21日(水) [28日]	消防大学校総合教育幹部科	1

8月16日(月)～ 8月20日(金) [ 5日 ]	消防大学校査察業務マ ネジメントコース	1
---------------------------	------------------------	---

4 職員厚生

健康診断の実施状況

検 診 名	対 象 者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	132
胃がん検診	〃	104
肺がん検診(胸部X線撮影)	〃	113
大腸がん検診	〃	113
前立腺がん検診	50歳以上	5
人間(脳)ドック	35歳以上	59

5 広報関係

消防行政に関わる情報を市民に周知するため、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急処置方法等をホームページに掲載した。また、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

6 消防施設の概要

(単位：㎡)

区 分	所 在 地	敷 地 面 積	構 造	1 階 床面積	2 階 床面積	3 階 床面積	延 面積
消 防 本 部	平柳町1-34-5	1,725	鉄骨造陸屋根3階建	467	437	22	926
栃木市消防署	平柳町1-34-5	4,970	鉄筋コンクリート造 3階建	641	330	315	1,286
大 平 分 署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤 岡 分 署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都 賀 分 署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西 方 分 署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289
岩 舟 分 署	岩舟町静 5133-1	3,320	鉄骨造2階建	507	272		779

7 消防施設の整備状況

主な業務

(単位：円)

業 務 内 容	金 額
---------	-----

栃木市消防本部・栃木市消防署資機材倉庫兼備蓄倉庫新築工事	89,243,000
栃木市消防本部別館倉庫等解体工事	40,744,000

消防団係

1 消防団員数等

消防団組織概要については【別図】組織概要図のとおり

(1) 階級別団員数 (4月1日現在 単位：人)

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定員	1	18	37	43	75	76	771	1,021
実員	1	9	37	43	75	76	759	1,000

(2) 所属別団員数 (4月1日現在 単位：人)

階級 地域等		団 長	副 団 長 ( 団 本 部 )	副 団 長 ( 本 部 分 団 )	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計
団本部	定員	1	6		-	-	-	-	-	7
	実員	1	6		-	-	-	-	-	7
本部分団	定員	-	-	12	6	12	18	-	-	48
	実員	-	-	3	6	12	18	-	-	39
栃木	定員	-	-	-	12	12	23	32	322	401
	実員	-	-	-	12	12	23	32	317	396
大平	定員	-	-	-	3	3	8	11	96	121
	実員	-	-	-	3	3	8	11	95	120
藤岡	定員	-	-	-	4	4	8	8	112	136
	実員	-	-	-	4	4	8	8	111	135
都賀	定員	-	-	-	4	4	6	7	68	89
	実員	-	-	-	4	4	6	7	68	89
西方	定員	-	-	-	4	4	5	7	63	83
	実員	-	-	-	4	4	5	7	62	82
岩舟	定員	-	-	-	3	3	6	9	95	116
	実員	-	-	-	3	3	6	9	93	114
女性分団	定員	-	-	-	1	1	1	2	15	20
	実員	-	-	-	1	1	1	2	13	18

合 計	定 員	1	6	12	37	43	75	76	771	1,021
	実 員	1	6	3	37	43	75	76	759	1,000

## 2 消防車等の態勢

(単位：台)

区分 地域等	消防ポンプ 自 動 車	小型動力ポンプ 付 積 載 車	指揮連絡車	計
団 本 部	-	-	3	3
本部分団	-	-	6	6
栃 木	17	6	-	23
大 平	8	-	-	8
藤 岡	4	4	-	8
都 賀	4	2	-	6
西 方	2	4	-	6
岩 舟	6	-	-	6
女性分団	-	-	1	1
計	41	16	10	67

## 3 消防団の活動状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、可能な範囲で行事や訓練を実施した。

### (1) 栃木市消防団の主な行事

#### ア 栃木市消防団入退団式

- ・実 施 日 4月4日(日)
- ・場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)
- ・新入団員数 52名

#### イ 車両と器具置場の一斉点検

- ・実 施 日 6月27日(日)
- ・場 所 市内すべての消防団器具置場 62か所

#### ウ 表彰伝達式

- ・実 施 日 10月31日(日)
- ・場 所 栃木市役所 正庁
- ・表彰対象者等 243名、25分団(内、16名が代表で受領)

### (2) 訓練等

名 称	開催日	開催場所
新入団員研修	4月4日(日)	とちぎ岩下の新生姜ホール (栃木文化会館)
新入団員基礎教育訓練	4月18日(日)	栃木市消防署・岩舟総合運動公園
ポンプ運用訓練	5月9日(日)、17日(月)	栃木市消防署・大平運動公

	22日（土）、23日（日）、 30日（日）	園
無線運用訓練	10月24日（日）	大平分署・大平地域消防団 機械器具置場
小学生への消防団特別 授業	11月12日（金）	部屋小学校
車両誘導訓練	12月4日（土）、11日（土）、18 日（土）	大平運動公園
無線活用夜間警戒訓練	12月4日（土）	西方町本城地内

(3) 栃木市消防団会議実施状況

開催日	名称	場所
5月14日（金）	第1回団本部会議	国府公民館
5月21日（金）	第1回本部分団会議	栃木市消防署
5月25日（火）	第1回南北会議	国府公民館、静和地区公民館
7月9日（金）	第2回本部分団会議	栃木市消防署
10月8日（金）	第2回団本部・本部分団合同 会議	キョクトウとちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）
11月19日（金）	第2回南北会議	吹上公民館、藤岡公民館
1月14日（金）	第4回本部分団会議	吹上公民館
1月28日（金）	第3回団本部オンライン会議	消防本部、岩舟分署

4 消防施設の整備状況

(1) 主な資機材等の購入

品名	数量	金額（円）
小型動力ポンプ付積載車	3台	26,400,000
ワイヤレスマイク付き拡声器スピーカー	1台	165,660
防火衣	7着	539,000
活動服（上下セット）	265着	4,279,220

(2) 主な施設整備

事業名	事業箇所	金額（円）
機械器具置場シャッター修繕工事	機械器具置場8箇所	990,000
防火水槽修繕工事	岩舟町古江地内	147,950
防火水槽撤去工事	藤岡町大前地内	1,060,000
栃木方面隊第1分団機械器具置場等 解体工事	泉町地内	3,828,000
栃木方面隊第10分団第4部機械器具 置場解体工事費	野中町地内	2,519,000

岩舟方面隊第2分団第1部機械器具 置場解体工事	岩舟町静地内	8,129,000
----------------------------	--------	-----------

5 消防団サポート店登録状況

(1) 業種別 (単位：件)

登録数	うち飲食業	うち製造業	うち販売業	うちその他
95	35	2	18	40

※その他は建設業・自動車整備業・葬祭業・美容業等

(2) 地域別 (単位：件)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
43	15	11	9	4	13

6 消防団協力事業所認定状況

(1) 地域別 (単位：件)

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
22	16	14	6	1	8

7 広報関係

消防団の存在と活動実績を市民に周知するため、広報とちぎへ記事を掲載したほか、消防団広報誌「火伏」第4号を発行し、消防団を広くPRした。

【別図】組織概要図

